

平成26年度総務委員会 行政視察報告書

総務委員会委員長 椎塚 俊裕

1 視察日・視察先・調査事項

視察日	視察先	調査事項
平成26年8月20日(水)	鳥取県境港市	1. 賑わいを創出するまちづくり (水木しげるロードによる観光振興)
平成26年8月21日(木)	島根県出雲市	1. 定住促進への取組み (「いずも空き家バンク」, 「住宅建築・リフォーム補助」, 「固定資産税の課税免除」等について)

2 調査内容

(1) 境港市行政視察...賑わいを創出するまちづくり

(水木しげるロードによる観光振興)

境港市は、人口37,000人の小さな市でありながら、現在も日本全国から観光客が300万人も訪れるにぎわいのある市である。

境港市産業部通商観光課にご説明をいただき、現地も案内していただきました。

「さかなと鬼太郎のまち」境港市は、平成元年に始まった「緑と文化のまちづくり」をテーマに、JR境港駅から商店街を結ぶ目抜き通りに境港市出身の漫画家水木しげる氏の描くマンガに登場する妖怪のオブジェ・モニュメント・絵タイルを歩道に設置した。妖怪を題材としたユニーク性とストーリー性をテーマに、彫刻と黒御影石の台座が一体化し、総延長800メートルの新しい町並みを形成させ、空き店舗の解消及び地元商店街が、大型店にないソフト面での充実を図るなど、商店街活性化にも寄与している。

また、平成15年には「水木しげるロード」関連事業の集大成として、水木しげる記念館が開館しました。

運営は、境港市観光協会が市や商店街からの補助金を人件費や販促費として運用しながら進めている。その他、民間団体やNPO・青年会議所なども、妖怪や鬼太郎に関連づけて、それぞれが独自の活動やイベントで盛り上げている。

平成22年のNHKゲゲゲの女房の放送効果により、ピークを迎える。

大型店が出にくい商業環境が現在の成功している要因の一つに挙げられる。また、商店

街も、観光ビジネスで活気がある半面、店を開けていても実際には商品が何も並んでいない店も見受けられたし、地元住民に必要な最寄り品や生鮮三品の店などは、この商店街の中には少ない印象でした。

(2) 出雲市行政視察...定住促進への取組み

(「いずも空き家バンク」 , 「住宅建築・リフォーム補助」 , 「固定資産税の課税免除」等について)

出雲市においては、定住支援政策を担当課の縁むすび課を中心に、意見交換をさせていただきました。県全体としても人口減少問題に積極的に取り組む中、当市ではさまざまな政策をバランス良く事業展開をしている感想を持ちました。

人口約 17 万人、日本海に面し、大都市から遠い印象があり何もしなければ自然減が必至の環境の中で、現状維持から微増というのは評価できる。

具体的には、「定住支援センター」を設置し、行政の縦割りではなく、出雲市での暮らしを考えている方のために、ワンストップサービスが可能な相談窓口として対応している。

加えて、次にあげる 5 つの事業を推進し定住促進に、効果を上げている。

1 . いずも空き家バンク

島根県の空き家バンクにプラスして、市独自の事業で市内の空き家・空き地の賃貸・売買情報などをホームページ等に掲載し情報を提供

2 . 出雲市定住促進住まいづくり助成事業

この制度は、単なる助成事業ではなく、繁華街・駅周辺などの集中を避けるため、一般支援地域と重点支援地域に振り分け重点地域には、手厚く補助をする。一方、業者は市内に本店・営業所を有する法人か個人業者に限っていることも、内部需要を掘り起こす効果を上げている。

3 . 田舎暮らし体験プログラムの実施

市外や県外に PR し、田舎暮らしの良さを知ってもらうために、日帰りや 1 泊 2 日で体験プログラムを実施し、市の PR を行う。

4 . 出雲市定住促進空き家活用事業

市内の過疎地域や中山間地域等の集落の、空き家を借り上げ、行政が 水回りの改修工事を行った後に、定住希望者 (特にお子様のいるご家族) に対して定額で貸出をする。期間は、基本的に 12 年間で、町内会 (自治会) に加入することが条件。

現在、7家族27名が入居している。

5. 新築住宅に対する固定資産税の課税免除

これは、国の軽減税措置にプラスして、市の独自事業として手厚く補助。新築住宅取得支援の一環として、地域経済の活性化も狙う。